



# 道農連 2017年11月の月間活動トピックス

2017年(平成29年)12月1日発行(第57号)

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

## 米・水田農業、畑作・野菜、酪農・畜産の各対策で中央行動を実施

道農連は、11月14日～15日に米・水田農業対策、15日～16日に畑作・野菜対策、28日～29日に酪農・畜産対策で中央行動を実施し、道選出国會議員、与党農林関係議員、農水省各担当課等へ要請。また、道選出国會議員要請では15日に、米・水田農業及び畑作・野菜政策について、野党議員に対する中央要請緊急集会を行い、与党議員には個別に要請した。集会終了後には、立憲民主党枝野幸男代表にも同様の要請を行った。

米・水田農業対策は、各地区総勢16名で、平成30年産以降の米の需給均衡化と需要に応じた生産の円滑な推進等を要請。また、JA 全中農業対策部水田農業対策課の担当者と需給調整を推進する全国組織の構築等について意見交換を行った。

畑作・野菜対策は、各地区総勢40名で、持続可能な本道畑作・野菜政策に関して要請した。30年度国費概算要求で新規に盛り込まれた「ばれいしょ増産輪作推進事業」の満額確保や規制改革推進会議で議論されている卸売市場法の堅持を求めた。

酪農・畜産対策は、西原委員長を先頭に各地区総勢34名で、30年度酪農畜産政策・畜産物価格等を要請した。酪農・畜産の食料自給率目標等の確実な達成と適切な国境措置の堅持、意欲と展望の持てる30年度畜産物価格等の決定、多様な酪農・畜産を育てる経営安定対策、需給安定対策、生産基盤強化対策を求めた。なお、第2次中央行動を12月12日～13日に行う予定。

## 全道書記長・事務担当者研修会を開催

道農連は11月20日に、第1部の道農業青色申告会の税務研修会に引き続き、第2部として農政研修会を開催し、農林水産省経営局保険課の白江課長補佐を招いて「収入保険制度の仕組みと農業共済制度の見直し」について説明した。

説明の中では、収入保険制度と農業共済やナラシ対策等の類似制度の掛金や補填金の比較シュミレーションを各地域 NOSAI のHP 上で簡易的に行うことができることなどを紹介した。

## 道農業青色申告会・税務研修会を開催

JA 道中央会、道酪農協会、道農業会議、道農連で構成する道農業青色申告会(会長: 中原浩一道農連書記長)は、11月20日に平成29年度税務研修会を開催し、関係者ら約250名が参加した。

研修会では、札幌国税局の大塚記帳指導専門官が平成29年分の確定申告の留意点などを説明するとともに、道税理士会の松川税理士が中小企業経営強化税制を活用した節税対策や、31年1月からスタートする収入保険制度に向けて準備すべきポイントなどを紹介した。

## 11月の活動記録(上記以外)

- 1日 食・みどり・水を守る道民の会幹事会  
道てん菜協会理事会  
新たな加工原料乳補給金制度の地方説明会
- 2日 道てん菜協会原料てん菜受渡現地調査  
道子実コーン組合現地検討会・シンポジウム
- 4日 卸売市場法見直しで札幌丸果との意見交換
- 7日 道南地区農民連盟研修・道農連来局
- 8日 合成洗剤追放北海道連絡会第1回運営委員会
- 11日 矢臼別移転実弾演習に関する反対集会
- 17日 食とみどり、水を守る全国集会(～18日)
- 30日 連合北海道第30回定期大会

## 12月の活動予定

- 5日 道農業青色申告会29年度簿記記帳講習会(～7日)
- 6日 全道地区・市町村組織委員長会議
- 7日 第1回組織財政委員会
- 12日 第2次酪農・畜産対策中央行動(～13日)  
食・みどり・水を守る道民の会総会
- 18日 収入保険制度等に関する説明会
- 19日 第6回執行委員会
- 28日 仕事納め

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください。  
お申し込み・お問い合わせは、道農連事務局(TEL011-241-5416)まで。